

# エコフリース 施工説明書

壁紙施工の前に必ずご一読ください。

- 1) 商品到着後、外箱に外傷がないことをご確認ください。万が一ございましたら早急にご連絡ください。
- 2) 表面に色ムラや汚れがないことをご確認ください。
- 3) 製品の特性上、色違い、質感等、サンプルと若干違う場合もございます。ご了承ください。品質に問題がある場合は施工前にご連絡ください。
- 4) 同一面に施工される場合、商品ロット番号が同一のものをご利用ください。
- 5) 商品は内側が仕上げ面です。
- 6) 縦置きされますと端がつぶれる場合がございます。保管は高温多湿、直射日光を避けるようにしてください。
- 7) 現地の下地状況に合わせ平滑になるように下地処理を行ってください。  
張替の場合、張替前の裏紙を残しますとエコフリースが浮く原因となりますのでご注意ください。  
合板、モルタル下地等、石膏ボード下地以外の場合にはシーラー処理が必要です。また石膏ボードの下にアクを発生するものもございます。ご注意ください。
- 8) 施工糊はエチレン酢ビボンド入り、原液タイプのもものをご使用ください。(推奨:ウォールボンド100)  
塗り替えが想定される場合は接着力の強いものをお使いください。(推奨:ウォールボンド200)
- 9) エコフリースは寸法安定性に優れますので、付け置きせず糊付けしたのから順次施工してください。  
オープンタイムは必要ありません。糊付け後はクロスパックに入れ、糊の水分の蒸発を避けてください。
- 10) 表面に糊が付着した場合は固く絞ったスポンジ等ですばやく拭き取って下さい。艶がない壁紙のため、拭き残しがありますと非常に目立ちます。また変色の原因となります。
- 11) 施工中、手に塗料が付く場合がございますが、余分に付着した塗料ですので製品上問題ございません。
- 12) 折りシワが付きますと取れなくなりますのでご注意ください。
- 13) 突き付け施工をお勧めします。合わせ切りする場合は、石膏ボードに和紙テープを貼り、紙の目開きを防いでください。入隅は廻し貼りをせず、カットしてください。
- 14) 硬い樹脂ローラーで押し付けされますと若干光沢が出ます。やわらかいローラーで施工してください。また、金属ヘラ等硬いものを使用されますと黒い線が付きますので樹脂ヘラ等やわらかいものをお使いください。
- 15) 同様に毛の硬い撫ブラシもツヤ差等の原因になります。柔らかい物をご使用下さい。
- 16) 施工後の急激な乾燥は避けてください。
- 17) 3幅ほど施工された状態で一度ツヤ差、左右差等ご確認ください。万が一商品に異常がある場合には施工を中断していただき、ご連絡をお願いします。

エコフリースはホルムアルデヒド規制対象外品として、国土交通大臣の認定を受けています。

国土交通大臣認定番号 MFN-0665 F☆☆☆☆

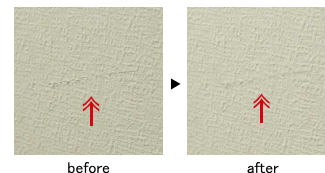
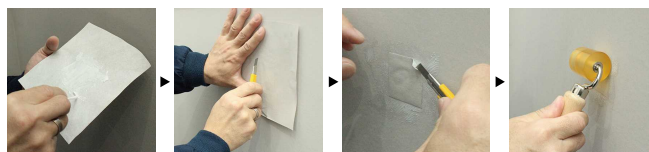
エコフリースは基材との組み合わせで、国土交通大臣より防火材料の認定を受けています。

不燃認定番号 NM-0223 下地材:不燃材料(金属板を除く)

準不燃認定番号 QM-0135 下地材:準不燃石膏ボード

## エコフリース メンテナンスについて

- 1) 日常のお手入れは、布やハタキでお掃除してください。
- 2) 飲食物や調味料などの水汚れがついた場合は、かたく絞ったスポンジかタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。  
落ちにくい場合は食器用の中性洗剤を必ず水で薄めてご使用ください。
- 3) 手垢などによる部分的な汚れは、ウエス等に水またはぬるま湯を含ませて拭き取るようにしてください。
- 4) 取れない汚れ、小さな傷、はがれは塗料を上塗りしてください。  
(部分的な補修は上塗り後すぐに拭き取ることをおすすめします)
- 5) 壁紙が膨れた場合は糊を入れて貼り戻すようにしてください。
- 6) 壁紙が貼り戻せない場合は、パッチワークの要領で新しい壁紙を切り貼りし、再度塗装してください。部分塗装で色が揃わないときは全面に塗装するようにしてください。  
同じ壁紙を上貼りすることも可能です。
- 7) 簡単なへこみ傷はウエス等で水分を含ませるか、アイロン等の蒸気で温め壁紙を膨らませて補修してください。  
アイロンを直接当てたり、ウエスでこすりすぎますと光沢が出ます。  
ご注意ください。
- 8) 入隅で口が開いた場合は、ボンドコークでふさぎ、塗料を塗るようにしてください。
- 9) 全体が汚れてきた場合は、そのまま水性塗料で塗り重ねていただけます。
- 10) 補修塗料は厚塗りにならないようご注意ください、塗料を水で1:1程度で希釈しよく攪拌して薄塗りをし、数回重ねるか、拭き取りながら様子を見て塗り重ねるようにしてください。  
ドライヤーなどで早めに乾かすとムラになりやすいです。
- 11) ポスター等掲示の際に使用する粘着テープ等も仕上げが剥がれることなく、テープを剥がせます。



その他、商品や施工などにご不明点がございましたら、お買い上げいただいたお店または弊社までご連絡ください。

(株)ナガイ インテリア事業部 03-6434-9840 (東京) 0568-86-5557 (名古屋)  
06-6131-9155 (大阪) 092-586-3281 (九州)